中信

松本本社 信毎メディアガーデン 〒390-8585 松本市中央2-20-2
電話 0263-32-2830　FAX 0263-32-2831
安曇野支局 〒399-8205 安曇野市豊科5935-1
電話 0263-72-2120　FAX 0263-72-2502
塩尻支局 〒399-0738 塩尻市大門七番町8-10
電話 0263-54-3227　FAX 0263-54-3769
大町支局 〒398-0002 大町市大町4343
電話 0261-22-0240　FAX 0261-22-9038
木曽支局 〒397-0001 木曽郡木曽町福島5760
電話 0264-22-2114　FAX 0264-21-1101

気軽な美術刀剣専門店
刀 ㈱永和堂
肥前国住藤原忠廣（二代）菖蒲造
一尺二寸六分　特別保存刀剣　60万円
長野市昭和通り ☎026-228-0001

松本市街地のビジョン どう描く

有志ら企画のシンポに130人

中心市街地のまちづくりについて語り合ったシンポジウム

松本市の建築関係者や住民有志などでつくる「松本都市デザイン学習会」（山本桂子代表）は17日、「松本中心市街地のビジョンを語るシンポジウム」を市立博物館で開いた。松本パルコや井上本店の閉店など背景に、今後の中心市街地の活性化について市民を巻き込んだ議論を重ねようと企画。約130人が参加し、まちづくりについて考えた。

学習会メンバーで都市計画家の倉沢聡さんは、大きな方向性の指針があれば街は良くなっていくとしつつ、「ビジョンをどのようなプロセスで築くことができるかが重要だ」と問題提起した。

パネル討論では、信州大キャリア教育・サポートセンター講師の勝亦達夫さんらが登壇。勝亦さんは（街づくりのビジョンについて）市民がイメージを共有することが次の一歩につながる」と強調した。

同学習会は昨年12月に中心市街地に関する勉強会を開き、今年2月にはワークショップを開催。今回、より多くの市民に関心を持ってもらおうとシンポジウムを開いた。

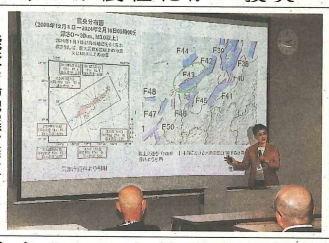
能登に学ぶ防災

「本気で考えて」

松本大の入江教授講演

松本大（松本市）地域防災科学研究所の入江さやか教授（60）＝災害情報学＝が18日、同大で講演し、県内で発生が想定されている大規模地震に備える必要性を訴えた。入江教授は視察した能登半島地震の被災地の状況に触れながら、「自分の地域を守るということを本気で考えて」と呼びかけた。

入江教授は2月から被害が大きかった石川県輪島市や珠洲市などを訪問。使えなくなった消火栓や全壊と判定された木造住宅の映像を紹介しながら、停電や断水が続いている状況に言及した。活断層の隆起や液状化現象によって復興が遅れている様子にも触れた。


能登半島地震が発生したメカニズムについて解説する入江教授（右奥）

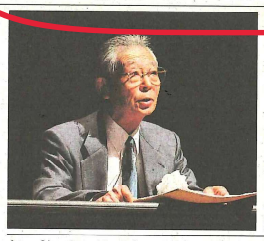
予測されている南海トラフ地震では、長野県内でも震度5弱～6弱の揺れが想定されている。入江教授は、住宅の耐震や水、電力はそれぞれの地域で確保する必要があると指摘した。

講演会は県内の防災士らでつくる県地域防災推進協議会の総会に合わせ企画。同協議会は、県内自治体と連携し、防災計画を立案・運用できるように防災士を派遣するなどの活動を行っている。

教育者の心構え

「腹据えて待つ」

塩尻で講演会



東筑摩塩尻教育会は18日、塩尻市レザンホールで、同会元会長の青柳直良さん（83）＝塩尻市洗馬＝の講演会を開いた＝写真。青柳さんは東筑摩塩尻教育会館（松本市開智）の前庭にある「ものぐさ太郎」像をテーマに、「会の伝統を築いた先輩たちは、広くおおらかな心を持ちつつ、教育に高い理想を掲げた」と語った。教員や一般市民合わせて約150人が聴いた。

「ものぐさ太郎」は、松本地方に伝わる民話。青柳さんは「怠け者を象徴として建立した例は珍しい」とし、同会の会長を1924（大正13）年から10年以上務めた教育者の手塚縫蔵が「ものぐさ太郎」をことのほか愛したと話した。

手塚は「教育者はすべからくものぐさ精神を体すべし」と説いたといい、青柳さんは「手塚の言うものぐさ精神とは『どんな子どもも磨けば光る』ということとは解説。「腹を据えて時を待つ構えが肝心ということではないか」と語りかけた。

生す清水寺へ

山形村 新管理人に専門知識持つ岡上さん夫妻

魅力も発信

山形村清水高原にある村指定文化財清水寺の管理人に4月に就いた岡上洋さん（41）、真梨さん（42）夫妻が、境内の樹木を手入れし、同寺の魅力を発信しようと準備を進めている。洋さんは樹木の管理全般に携わる専門家「アーボリスト」。重機が入れない境内で技術を生かして剪定し、光が差し込む明るい境内にしたいと考えている。夫妻はSNSで寺の自然の豊かさなども発信し、「この場所の魅力を知ってもらいたい」と意気込んでいる。

寺は729（天平元）年に創建され京都の清水寺に縁があると伝わる。檀家はおらず、住職は1960年代までいたが、その後は村民らでつくる清水寺保存会が寺を維持、管理する。同保存会が管理人を募集し、境内の掃除や参拝者の案内などを行う。

岡上さん夫妻は富山市出身。洋さんが特殊伐採専門の会社「マルイチ」（新潟県燕市）で仕事が多かったことから、自然豊かな山形村に2015年に移住。21年にアーボリストとして独立した。23年1月にはオーストラリアの会社にアーボリストとして就職し、真梨さんと息子の八起（7）、起生ちゃん（5）と一緒に移住したが家庭の事情で1年で帰国した。

「人が温かい」と帰村を望んでいたところ、管理人の募集があり、応募した。

機が入れない境内でロープを使って木に登り、木の健康を保てるよう自然な樹形に剪定しようと考えている。洋さんは「光が差し込んで風通しの良い参道にしたい」と話す。草や木の枝で通りづらくなっている寺周辺の遊歩道も、整備したいと考えている。

管理人になってもうすぐ2カ月。真梨さんは「（標高1200㍍ある）清水高原まで登ると別世界。鳥の声が大きく聞こえる」と魅力を感じている。真梨さんは「ぜひ、ぶらっと

▼イベント▲

◇松本市【しばふコンサート】23日正午～午後1時、キッセイ文化ホール北側芝生。弁当を食べながらハンドベルの演奏やバルーンアートを楽しむ。未就学児向け。敷物、弁当、飲み物持参。雨天時は屋内で開催。同ホール☎0263・34・7100。

【森守りの会（フォレストサポーターズ）】25日午前9～11時、信州スカイパーク。樹林地内にウッドチップを敷いて遊歩道を作る。参加者に薪材をプレゼント。先着15人。要申し込み。TOY BOX 信州スカイパークサービスセンター☎0263・57・2211。

【松本手まり時計まつり】25日午前10時～午後4時、26日午前9時半～午後4時、Mウイング。創作人形や模型などの展示発表、茶道、ぼかし染め、手品、和紙づくりなどのワークショップ（一部有料）。手まりマルシェは軽食、水引アクセサリー、手まりランプなどを販売。ステージ発表（26日のみ）は車いすダンス、津軽三味線、日本舞踊、コーラスほか。台湾高雄市の小学校と鎌田中学校吹奏楽部の合同演奏会、ジェンダー平等センター開設記念イベント、スタンプラリーなどの催しも。市生涯学習課☎0263・32・1132。

ケーブルテレビコミュニティーFM　これがおすすめ！

国税の窓

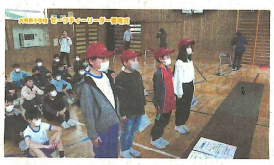
（テレビ松本　21日前9・30、後1・30他）

松本税務署の職員が出演し、税金に関する疑問や生活に役立つ税の知識などをわかりやすく解説します。昭和58年11月から続く、テレビ松本一番の長寿番組です。

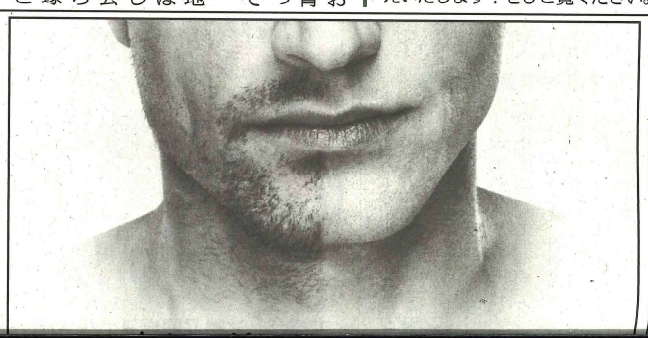
人町南小学校　セーフティーリーダー委嘱式

（大町市ケーブルテレビ　21日前7・00　後4・00ほか）

常盤地区防犯協会と大町南小学校ＰＴＡが毎年６年生に委嘱しているセーフティーリーダー。今年度は39人の児童が委嘱を受け、シンボルとなる赤い帽子を受け取りました。今後、学校や地域の代表として登校時の下級生の見守りや朝夕のあいさつ活動などに取り組みます。



フラワーｉｎｎおおつき～楽しい花辞典～

（あづみ野テレビ12ｃｈ　21日前11・00他）

「フラワーｉｎｎおおつき～楽しい花辞典～」では、安曇野市明科にある総合園芸店おおつきから、季節のお花や、野菜の育て方などについてご紹介しています。園芸初心者の方にも分かりやすく、そして詳しくお伝えいたします！ぜひご覧ください。